

## 人権教育の観点を明確にした授業づくり（国語科）

### <実践例 小学校第5学年 国語 「わらぐつの中の神様」>

#### 1. 指導にあたって

##### (1) 人権尊重の授業づくり

本校では、人権教育の目標を「自他を大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成」とし、付けたい力と願う児童の姿を下図のように描いて取り組んできた。

また、国語科のみならず、教科等の指導では、次の3点を大切にして授業づくりに取り組んできた。

##### <人権尊重の授業づくり>

- ①一人一人のよさ、持ち味を生かす学習活動の工夫
- ②確かな根拠に基づいて考え、判断する指導の工夫
- ③課題に向かって児童が主体的に追究する授業づくり



授業の様子

##### (2) 育てたい力と願う児童の姿

3つの力（認識力、自己啓発力、行動力）を窓に、願う児童の姿を次のように描いた。

##### <人権教育で付けたい力>

###### 認識力

身近な生活の中にある不合理なことや差別事象をとらえたり、見抜いたりすることができる力

###### 自己啓発力

生活を振り返り、自己の心の中にある偏見や差別的なものの見方や考え方を改めようとする力

###### 行動力

日常生活の中の人と人との関わりにおける差別事象に対して、正しく行動することができる力

##### <願う児童の姿>

- ・仲間を傷つける言動を慎み、見逃さない子
- ・人間関係のゆがみに潜む偏見、差別を感じ取れる子
- ・うわさや固定的な見方、自分の好き嫌い等に惑わされず、客観的な根拠で正しく判断する子

- ・自分や仲間のよさを見つけ、大事にする子
- ・人権の観点から、自分の言動には責任をもとうとする子
- ・仲間の痛みに共感できる想像力や感受性のある子
- ・お互いの違いを尊重し、優しい態度で接する子

- ・人権に関する間違いを見逃さず、解決のために行動する子
- ・よりよい集団づくりに積極的に関わられる子
- ・対立的な問題に出会っても、話し合っ解決しようとする子

##### (3) 児童の実態

こうした願いに対して、児童の実態の姿は次のようである。

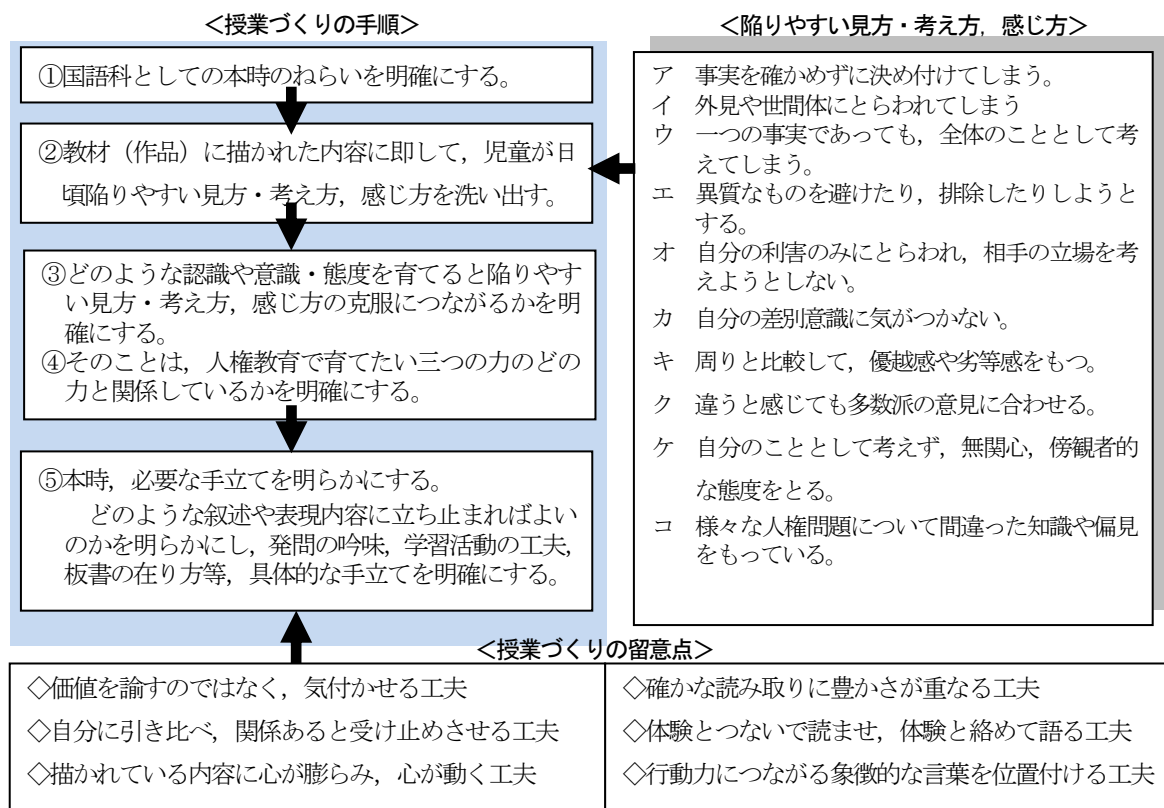
- 挨拶がよくでき、言葉遣いも丁寧な児童が多い。きまりやルールを守り人の嫌がることはあまりしない。
- 心根の優しい児童が多く、困っている子がいると声を掛けて助けようとする。
- 仲間のよさを認め合うことができ、誰に対しても公平に接しようとする児童が多い。
- 自分に直接利害が及ぶ場合は損得で判断してしまうことがある。また、仲間に追従してしまうことがある。
- 自分の言動に自信が無く、依存的で、自分の意志を貫いたり主体的に問題解決に取り組んだりする姿が弱い。

課題を解消し、願う姿に迫るためには、学校生活のほとんどを占める教科等の授業でさらに鋭角的な取組をし、力を付けていく必要がある。そこで、主題研究の国語科「読むこと」領域の研究を通して、人権教育の観点を明確にした授業づくりの在り方に取り組んだ。

## 2. 実践

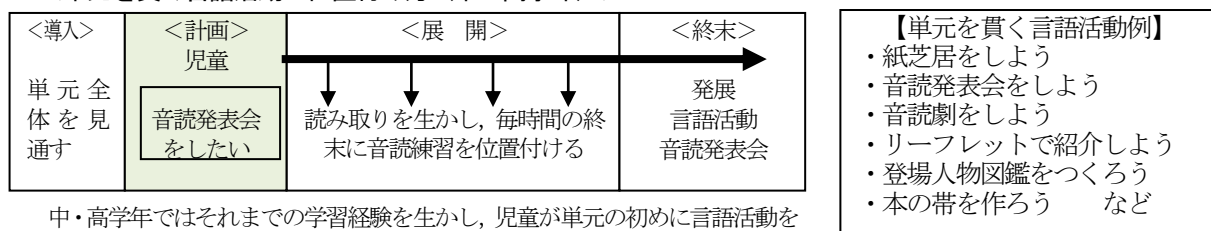
### (1) 人権教育の観点を明確にする手順

人権教育の観点を明確にした授業を構想する際、第一に考えるのは、教科としてのねらいを達成することである。次に、教科のねらいを達成する過程において、どこを、どのように扱うことが人権教育につながるのかを検討する。下図はそうした授業づくりの際の手順である。



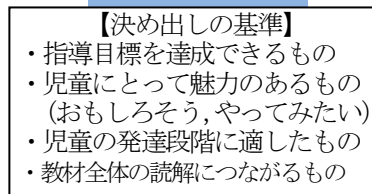
本校では単元を貫く言語活動を位置付けることで、目的的に読むことができるよう工夫している。主体的に最後まで課題を追究しきる体験を積み重ねさせて自信をもたせ、将来、人権に関する問題に直面した時、積極的に行動できる力を身に付けさせたいと考えている。

### ＜単元を貫く言語活動の位置付け方（中・高学年）＞



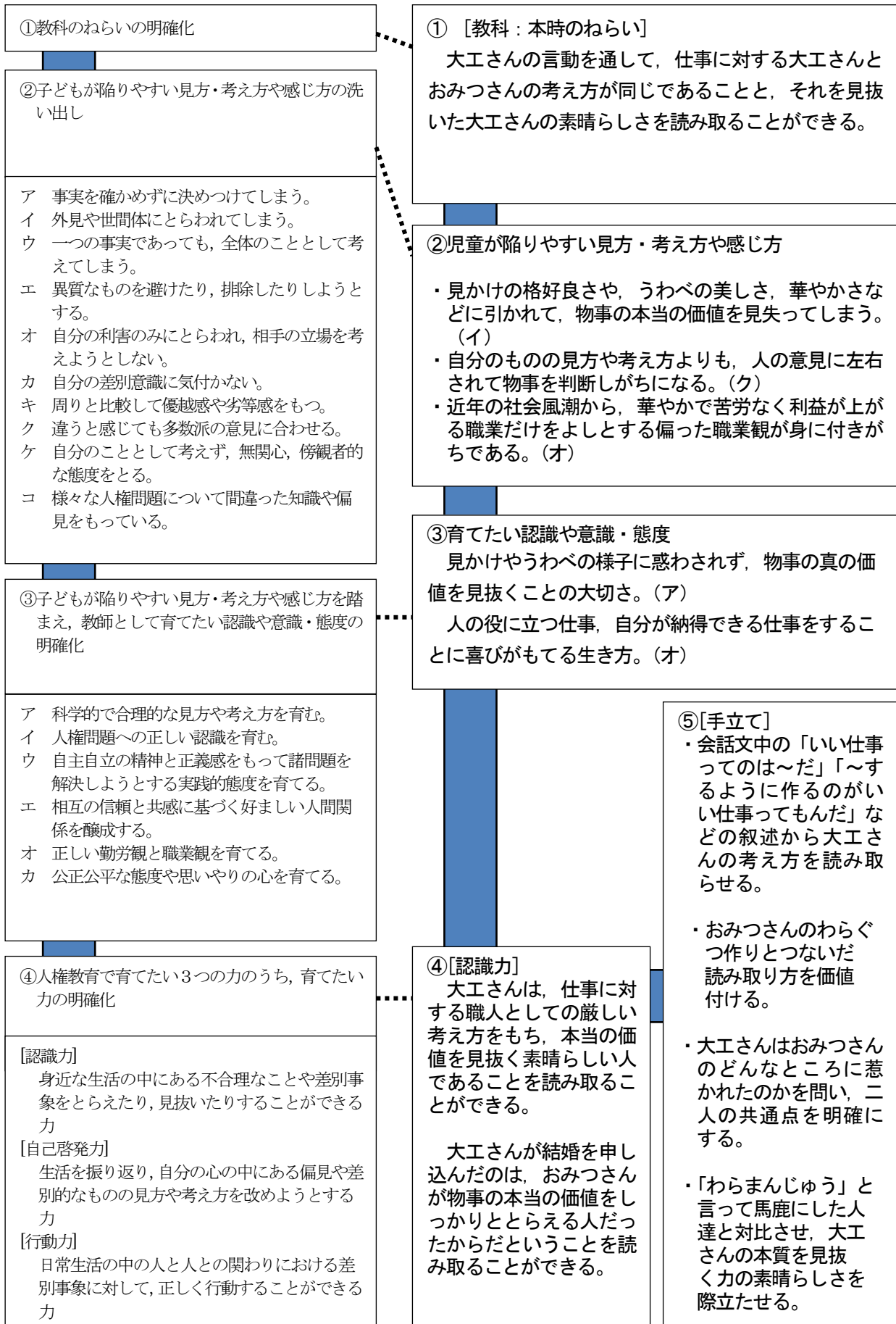
中・高学年ではそれまでの学習経験を生かし、児童が単元の初めに言語活動を決め出すことができるようになる。一単位時間ごとの言語活動が終末の言語活動で生かされ、発展するようにしている。

「わらぐつの中の神様」では、「杉みき子さんの読書会をしよう」を「単元を貫く言語活動」として位置付けた。感想の交流会という目的によって本教材に対する主体的な学習の姿が生まれた。



(2) 人権教育の観点を明確にした授業づくりの実際 第5学年 「わらぐつの中の神様」

前頁の手順により、おみつさんと大工さんの心が通い合う場面の授業を次のように構成した。



### (3) 展開の実際

本時のねらい 大工さんの言動を通して、仕事に対する大工さんとおみつさんの考え方が同じであることと、それを見抜いた大工さんの素晴らしさを読み取ることができる。

難	ねらい	教師の働きかけ	児童の歩み	指導・援助
つかむ	前場面を振り返り、本時のめあてを把握することができる。	①大工さんはなぜか、何度もわらぐつを買いました。今日はその謎を解きましょう。 ②音読して手がかりを見つけましょう。	・「不恰好」「不細工」「わらまんじゅう」のわらぐつを大工さんは何度も買ってくれた。 ・今日は大工さんがたくさん話す場面だ。 大工さんはなぜ、何度も不恰好なわらぐつを買ったのだろう。二人のやりとりから読み取る ・手がかりとなる叙述を見つけながら音読する。	・前場面のまとめの掲示物を活用する。 ・謎を解くために、大工さんの会話文や様子を表す言葉に着目していけばよいことを確認する。
考えをもつ	一人読みをし、自分なりの読み取りをもつことができる。 読み取ったことを発表し、交流することができる。 大工さんとおみつさんの考え方に共通点があることが分かる。	③分かるところにサイドラインを引き、自分の考えを書いていきましょう。 ④読み取ったことを発表しましょう。 ⑤深める発問をする。 大工さんが何度もわらぐつを買ったのは、わらぐつの中身がよいからですか。 大工さんはおみつさんに結婚を申し込みました。どんなところが好きになったのでしょうか。	○一人読みをした後、交流する。 「とてもじょうぶだよ」 ・じょうぶに作ってあるから何度も買った。 「仲間や近所の人たちの分も」 ・いいわらぐつだから、みんなに買ってやった。 ・それは違って、「ちょっと赤くなりました」と書いてあるから、大工さんは恥ずかしくてごまかしているんだと思う。 「見かけで決まるもんじゃない」 「使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのがいい仕事」 ・大工さんは見かけは不恰好でも、仕事は中身が大事だと考えている。おみつさんのわらぐつはその考えに合っているから買った。 ・見かけより中身が大事という考え方がおみつさんと同じだと思う。 ○それぞれの考えを出し合う。 ・わらぐつがいいから買ったんだけど、もう一つは、そういう仕事をするおみつさんをいい人だと思ったから何度も買ったんだと思う。 ○大工さんがおみつさんに惹かれた理由を考える。 ・わらぐつを初めて見たとき、縦にしたり横にしたりしてよく調べたらしっかり編んであった。この人は、見かけより中身を大事にする人なんだと分かって好きになった。 ・人を思いやって心を込めて作るところが自分と同じ考え方だと思って好きになったんだ。 ・この人は立派な考えをもって、いい仕事をするのに威張らない。いつも恥ずかしそうにしている。そこがいいんだよ。	<人権教育の観点> 見かけやうわべに惑わされず、真の価値を見抜くことの大切さ。 ・わらぐつを編む場面の象徴的な言葉を位置付け、大工さんの考え方と比較できるようにする。 「はく人がはきやすいように」 「あったかいように」 「少しでも長もちするように」 ・大工さんにインタビューしたら何と答えるか、大工さんの話し言葉で書かせる。 ・「わらまんじゅう」と言って馬鹿にした人達と対比させ、大工さんの本質を見抜く力の素晴らしさを際立たせる。 ・おみつさんの人柄のよさに惹かれたという発言があれば認め、位置付ける。
深める	大工さんが、おみつさんに結婚を申し込んだ理由を考え、交流することができる。 おみつさんの隠れたよさを見抜いた大工さんの素晴らしさに気付くことができる。			
まとめ	学習して分かった大工さんの人柄をまとめることができる。 学習の仕方を振り返ることができる。	⑥リーフレットで、大工さんのどんなことを紹介しますか。 ⑦今日の学習を振り返りましょう。	○端的に2～3文で書く。 ・大工さんは見かけで決めない人。 ・大工さんはおみつさんと同じで「本当のいい仕事」を知っている人。 ・大工さんは相手のよさをしっかり見抜く人。 ○振り返りの観点に沿って自己評価する。仲間の頑張りで気付いたことを発表する。	・板書の中の言葉を参考にして、書くよう示唆する。 ・「いい仕事」→「使いやすい」「じょうぶ」「長もち」「使う人の身になって」等の語句でもよい。

### 3. 成果と課題

○深めの発問によって、わらぐつのよさだけでなく、おみつさんが物事の本当の価値をしっかりと捉えていることや、大工さんと同じ価値観（人に役立つ仕事、自分が納得できる仕事をすることに喜びが持てる生き方）をもって仕事をしていることなどに気付き、見かけやうわべの様子に惑わされず、物事の真の価値を見抜くことの大切さを感じ取った。

●おみつさんの人柄のよさを見抜いた大工さんの素晴らしさに目をむけるところに弱さがあった。大工さんの本質を見抜く素晴らしさに共感した一人読みが出ていたので、それを取り上げて切り込んでいく必要があった。

☆人権教育の観点を明確にした授業づくりは、指導内容のどこに人権につながる見方や考え方が潜んでいるのか、それをどのような工夫によって3つの力につなげていくのかをはっきりさせることが大切である。今後も、人権教育の視点をしっかりとをもって指導するようにしたい。